

平成19年度 北加瀬こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	北加瀬こども文化センターの管理運営に関すること 日吉小学校・古川小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況	<p>施設の運営に関する職員体制に関すること</p> <p>①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。</p>	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センター内に「ドリーム箱」を設置し、利用者の要望や意見を書いてもらい、運営に役立てている。運営協議会開催時においては地域の方々と積極的に情報・意見交換を行った。利用児童の意見や要望を直接聞く場としてこども会議を開催すると共に、日常の関わりの中で積極的に声がけした。わくわくでは、保護者懇談会を開催し保護者の意見や疑問を聞きくなどし、保護者との信頼関係をきずいた。日吉中学校とは訪問、電話等にて地域の中学生の動向の情報交換を行った。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。提案箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	運営協議会と良好な関係を保ちながら、共催した「こどもえんにち」では、こども会議を経たこどもたちの協力も得て、地域と一緒になった行事を実施することができた。こども文化センターの前の花壇の整備・緑化活動を地域企業の「三菱ふそうトラック・バス(株)」と企画し実践した。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。地元企業と協力した緑化活動は特徴的な活動だった。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。

事業の実施に関すること	「かきかたクラブ」「ケーキフラ」の両クラブの講師を地域の方に依頼し、健全育成事業に参画してもらった。作品の展示、老人ホーム・区民祭で日頃の成果をお披露目し喜ばれている。日吉第一ボランティア(主任児童委員の方も含む)の方々と子育て支援の名目で「ぼほんたらんど」を月1回開催している。	ボランティア等地域人材の活用により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関するこ	個人情報取り扱いによるデータ等は、施錠可能な場所にて保管したり、情報収集の必要時には、目的の掲示・明記をしたり、ファイルに綴じて直接目に触れないようにした。「財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針」について、遵守の徹底を職員、臨時職員に周知し、取り扱いについては十分注意するむねを職員間で確認した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関するこ	日常的に、施設内外の見回り、安全点検を行った。また、遊具の点検、整備を常時実施し、安全確認を行った。館内外の整理整頓を日々心がけ、非常口付近への、物を置かないよう徹底した。夜間に関しては、警備会社に業務委託し緊急時には対応をした。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、日吉小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 25,604人 延べ団体利用数 3,754団体 (主な行事等) お楽しみ映画会とだがしや こどもえんにち (特色のある行事) 三菱ふそうバス・トラックバス見学	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 日吉小学校わくわくプラザ 登録者数 303人 延べ利用者数 11,466人 (主な行事等) 読書 なかよしこよしひよしツアー (特色のある行事) 英語the yo 2 古川小学校わくわくプラザ 登録者数 288人 延べ利用者数 19,163人 (主な行事等) 折り紙 迷路 (特色のある行事) 将棋大会	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																				
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tbody> <tr> <td>収入 指定管理料</td> <td>47, 763, 443</td> </tr> <tr> <td>支出 人件費</td> <td>38, 543, 247</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td>2, 702, 633</td> </tr> <tr> <td> 事務経費</td> <td>1, 937, 847</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td>1, 436, 042</td> </tr> <tr> <td> 青少年事業資産取得支出</td> <td>909, 090</td> </tr> <tr> <td> 減価償却引当資産取得支出</td> <td>40, 492</td> </tr> <tr> <td> 第1回精算に伴う返納金</td> <td>636, 363</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>46, 205, 714</td> </tr> <tr> <td> 差引</td> <td>1, 557, 729</td> </tr> </tbody> </table>	収入 指定管理料	47, 763, 443	支出 人件費	38, 543, 247	管理費	2, 702, 633	事務経費	1, 937, 847	その他経費	1, 436, 042	青少年事業資産取得支出	909, 090	減価償却引当資産取得支出	40, 492	第1回精算に伴う返納金	636, 363	合計	46, 205, 714	差引	1, 557, 729	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入 指定管理料	47, 763, 443																					
支出 人件費	38, 543, 247																					
管理費	2, 702, 633																					
事務経費	1, 937, 847																					
その他経費	1, 436, 042																					
青少年事業資産取得支出	909, 090																					
減価償却引当資産取得支出	40, 492																					
第1回精算に伴う返納金	636, 363																					
合計	46, 205, 714																					
差引	1, 557, 729																					

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。